【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	令和3年9月30日
【中間会計期間】	自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日
【発行者の名称】	BNG銀行N.V.(旧オランダ自治体金融公庫) (BNG Bank N.V.)
【代表者の役職氏名】	最高財務責任者 Olivier Labe 最高リスク責任者 Cindy van Atteveldt
【事務連絡者氏名】	弁護士 黒丸博善
【住所】	東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー23階 TMI総合法律事務所
【電話番号】	(03)6438-5511
【縦覧に供する場所】	該当なし

- 注(1) 本書中、別段の記載がない限り、「ユーロ」または「EUR」と表示される金額は、欧州連合条約により改正された欧州共同体を設立する条約に従い単一通貨を採択した欧州連合加盟国の法定通貨を意味する。2021年9月24日現在、東京の主要銀行により公表されたユーロに対する日本円の為替相場の中値は1ユーロにつき129.69円であった。
- (2) 以下、BNG銀行N.V.を「BNG銀行」または「発行者」という。
- (3) BNG銀行の事業年度およびオランダ王国の予算会計年度は暦年である。
- (4) 本書中の表で、計数が四捨五入されている場合、合計は計数の総和と必ずしも一致しないことがある。

第 1 【募集(売出)債券の状況】

該当事項なし

第2 【発行者の概況】

1 【概況】

BNG銀行は、当年上半期に達成した財務成績を振り返って満足している。COVID-19のパンデミックはまだ収束していないが、BNG銀行の業績は、経済状況の改善によりプラスの影響を受けている。

2021年上半期

BNG銀行の2021年上半期の純利益は1億8,700万ユーロであった。2020年上半期と比べ8,700万ユーロ増加したが、これはCOVID-19のパンデミックによる欧米経済への影響が弱まっていることに起因する。特に、経済見通しが改善したため、BNG銀行の金融取引の損益および貸付金の減損モデルがプラスの影響を受けている。

報告期間における新規長期貸付額は56億ユーロであった。2020年同期比で2億ユーロの増加は、住宅協会部門の需要増によるものであった。長期ローンポートフォリオは1億ユーロ増の861億ユーロとなり、2020年度末と比べほぼ横ばいであった。

2021年上半期に、BNG銀行は、新たに20億ユーロのSRIボンドを含む債券を発行し、64億ユーロの長期資金を調達した。当年上半期の価格設定は、信用スプレッドで測定すると、COVID-19のパンデミック直前の数四半期に匹敵する。BNG銀行は、その優れた信用格付のおかげで、2021年上半期においても魅力的な金利で短期資金を調達することができた。

BNG銀行の2021年上半期の受取利息純額は2億2,800万ユーロと予測を超過し、2020年同期の受取利息純額を上回った。特に、BNG銀行が促進した顧客ポートフォリオの再編および早期返済により、予想を2,000万ユーロ上回る結果となった。さらに、受取利息純額はECBによるTLTROの（追加）資金供給の有利な金利から恩恵を受けた。これらの有利な金利は長期貸付金の割引の形で顧客に還元されているため、かかる貸付金について今後BNG銀行が受ける利益は低下することとなる。

受取手数料は、銀行取引先との取引による手数料収入が減少した結果、前年同期と比べ400万ユーロ減少し800万ユーロとなった。

金融取引損益は、全体で6,300万ユーロの黒字（2020年度：1,400万ユーロの赤字）であった。2020年同期と比べ増加したが、これは主に未実現市場価値変動に起因する。2020年度に、この損益はCOVID-19のパンデミックの発生によりマイナスの影響を受けた。2021年度は、特に長期金利が上昇したため、未実現市場価値変動の残高が4,400万ユーロとなった。実現損益は1,900万ユーロで、主にBNG銀行の流動性ポートフォリオから利付有価証券を売却したことによるものであった。

2020年同期と比較すると、通常の連結営業費用は400万ユーロ増の4,800万ユーロとなった。予想通り、顧客の誠実性およびゲートキーパーとしての責任を果たすため、特に人件費および外部職員の雇用が増加した。

全体で、報告期間の減損は合計700万ユーロのプラス（2020年上半期：2,800万ユーロのマイナス）となったが、これは主に経済見通しが改善した結果、2021年上半期のモデルに基づく減損が減少したためである。BNG銀行の2021年上半期の予想信用損失総額は700万ユーロ減少し2億1,300万ユーロとなった。

貸借対照表日における商業税費用は7,100万ユーロであった。ハイブリッド資本の控除による利益は、2021年度現在、税費用に転嫁される（従来のように、株主資本には転嫁されない）ため、2021年上半期の実効税率（27.6%）は2020年同期（32.2%）と比べ低下した。

2020年度末と比較すると、貸借対照表総額は5億ユーロ減少し1,598億ユーロとなった。長期金利の上昇が貸借対照表総額に抑制効果を与えた。その結果、特に担保残高が59億ユーロ減少した。TLTROの資金供給および短期資金の調達により、ECB預金残高は2020年度末と比べ134億ユーロ増加し157億ユーロとなった。

当期中、BNG銀行の株主資本は約51億ユーロで安定していた。改訂された資本規制（CRR2）により、リスク加重ソルベンシー比率は若干低下した。特に、デリバティブの信用リスク・エクスポージャーに備えるため資本が増加した。その結果、BNG銀行の普通株式等Tier 1比率およびTier 1比率は、2021年6月末までに、それぞれ31%および36%に低下した。報告日におけるBNG銀行のレバレッジ比率は9.9%であった。2020年度末（3.5%）から増加したが、これは新しい資本規制に基づきBNG銀行のプロモーション・ローンを除外する可能性によるものであった。BNG銀行はまた、比率の計算からECB預金残高を除外するオプションを利用している。ECBはこのオプションを2022年3月末まで延長した。これらのオプションを行使することができなかった場合、レバレッジ比率は0.2パーセント・ポイント低下し3.3%となった可能性がある。BNG銀行の資本比率はすべて、規制当局が設定した最低水準を大幅に上回っている。

見通し

BNG銀行は、ソルベンシー要件の対象とならない長期貸付を105億ユーロ提供するという年間目標の達成に向けて順調に進んでいる。しかし、ソルベンシー要件の対象となる取引高を（最大）10億ユーロにするという目標に達するかどうかは不確実である。これは、新たな戦略に沿ってBNG銀行が用いる公共部門の定義をより厳密にした結果である。

当年度の資金調達方針は、可能な限り低コストで希望する満期および金額を獲得するために、金融および資本市場への恒常的なアクセスを確保することに引き続き重点が置かれている。TLTROの60億ユーロの追加資金供給が一因となり、2021年度の1年間で債券の発行により調達する長期資金の目標額は125億ユーロに下方修正された。BNG銀行は、2021年度中さらに2つのSRI債券を発行する予定である。

BNG銀行は、不確実な市場環境から追加の資本バッファの維持が妥当であるとして、2021年5月にハイブリッド資本の第1トランシェ（4億2,400万ユーロ）を返済するオプションを使用しないと決定した。来年度以降、BNG銀行はハイブリッド資本の全額（7億3,300万ユーロ）を毎年償還するオプションを有している。

この数か月間で、BNG銀行は、顧客の誠実性およびゲートキーパーとしての責任を果たすため、年間計画で予定されている拡張を上回る追加能力を要することが明らかになった。特に、顧客のデューデリジェンスおよび取引の監視の規模を拡大するための更なる活動には、より多くの雇用が必要となる。2021年度の連結営業費用は約1億600万ユーロと見込まれている。BNG銀行の2021年度の法定銀行税は（1回限り）50%増額された。そのため、第4四半期に支払われ、計上される予定の、2021年度の法定銀行税に対するBNG銀行の拠出額は5,300万ユーロである。

BNG銀行の2021年度の受取利息純額は、4億4,000万ユーロから4億7,000万ユーロまでの範囲内に収まると予想される。この予想は、TLTROへの追加参加および提供された貸付金の売却による堅調な実現損益を踏まえて上方修正された。将来の市場価値変動および減損の動向は当然不確定である。したがって、BNG銀行は、2021年度の純利益の予想を伝えることは賢明ではないと考えている。

配当金の提案

2019年度の配当金は7,100万ユーロ、2020年度の配当金は1億100万ユーロが、株主総会に提案された。2019年度の株主総会に先立ち、ECBは欧州の銀行に対して、配当金の支払いを差し控えるか、少なくとも（数回の延長により）2021年10月1日まで延期するよう勧告した。株主総会において、BNG銀行は、ECBの勧告に従うと発表した。2021年3月、BNG銀行は2,400万ユーロの配当金の支払いについてECBから同意を得たため、これは2021年上半期に支払われた。2021年7月末、ECBは、2021年10月1日からこれらの一般的な配当制限を解除すると発表した。BNG銀行は、2021年10月に残りの配当額1億4,800万ユーロを支払う予定である。

2 【資本構成】

2021年6月30日現在のBNG銀行の資本構成（未監査）は以下のとおりである。

	2021年6月30日現在
	（未監査）
	（単位：百万ユーロ）
授權株式資本：2億5,000万ユーロ	
資本金（発行済全額払込済）	139
資本準備金	6
利益剰余金	3,740
再評価剰余金	60
キャッシュフロー・ヘッジ準備金	9
自己信用調整	4
ヘッジコスト準備金	183
当期純利益	187
ハイブリッド資本	733
負債証券	109,026
受託資金	6,068
劣後債務	35
資本合計	120,190

3 【組織】

2021年上半期中において、以下を除き、BNG銀行の組織に重大な変更はなかった。

6月初旬、BNG銀行の執行委員会は、新たに3名の構成員を迎え、意図されていた5名体制となった。

2021年2月15日、シンディ・ファン・アッテフェルトがBNG銀行の新しい最高リスク責任者（CRO）に任命された。2021年6月22日、ヤーコ・ファン・ハウトスヴァールトが最高執行責任者（COO）に、トーマス・エテルマンが最高商務責任者（CCO）に任命された。

4 【経理の状況】

BNG銀行の連結中間財務書類（未監査）は、以下のとおりである。

連結貸借対照表
（単位：百万ユーロ）

	注記	2021年6月30日現在	2020年12月31日現在
資産			
現金および中央銀行残高		15,713	2,312
銀行預入金		127	120
差入現金担保		14,544	20,361
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産		1,376	1,452
デリバティブ		6,167	8,540
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産		9,474	9,738
償却原価で測定される利付有価証券		7,704	7,880
償却原価で測定される貸付金および前渡金 ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する		89,230	88,942
貸付金に対する価値調整		15,100	20,816
関連会社および共同支配企業		31	31
有形固定資産		16	17
未収還付税金		11	1
その他の資産		347	149
資産合計		159,840	160,359
負債			
銀行借入金		18,729	12,221
受入現金担保		1,191	858
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債		625	656
デリバティブ		18,733	26,965
負債証券	1	109,026	108,615
受託資金		6,068	5,599
劣後債務		35	35
繰延税金負債		85	98
その他の負債		287	215
負債合計		154,779	155,262
株主資本			
資本金		139	139
資本準備金		6	6
利益剰余金		3,740	3,712
再評価剰余金		60	86
キャッシュフロー・ヘッジ準備金		9	11
自己信用調整		4	5
ヘッジコスト準備金		183	184
当期純利益		187	221
株主に帰属する持分		4,328	4,364
ハイブリッド資本		733	733
株主資本合計		5,061	5,097
負債および株主資本合計		159,840	160,359

連結損益計算書
 (単位:百万ユーロ)

		2021年上半期	2020年上半期
	注記		
- 実効金利法を用いて計算した受取利息		2,127	2,302
- その他の受取利息		117	232
受取利息合計		2,244	2,534
- 実効金利法を用いて計算した支払利息		1,975	2,263
- その他の支払利息		41	46
支払利息合計		2,016	2,309
利息損益	2	228	225
- 受取手数料		10	14
- 支払手数料		2	2
手数料損益		8	12
金融取引損益	3	63	(14)
関連会社および共同支配企業による損益		1	3
その他の損益		1	1
収益合計		301	227
人件費		25	21
その他の一般管理費		22	21
減価償却費		1	2
その他の営業費用		0	0
営業費用合計		48	44
金融資産の減損損失純額	4	(7)	27
関連会社および共同支配企業の減損損失純額		0	0
破綻処理基金への拠出		2	8
その他の費用合計		(5)	35
税引前当期利益		258	148
法人所得税費用		71	48
当期純利益		187	100
- うちハイブリッド資本所有者に帰属		21	25
- うち株主に帰属		166	75

連結包括利益計算書

(単位：百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

	2021年上半期	2020年上半期
当期純利益	187	100
株主資本で直接認識される組替調整される損益		
キャッシュフロー・ヘッジ準備金の変動：		
- 未実現価額の変動	(2)	2
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	-	-
	(2)	2
ヘッジコスト準備金の変動：		
- 未実現価額の変動	(2)	(86)
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	1	-
	(1)	(86)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される 金融資産に係る再評価剰余金の変動：		
- 未実現価額の変動	(13)	(19)
- 純損益に振り替えられた実現価額の変動	(13)	(5)
	(26)	(24)
組替調整される損益合計	(29)	(108)
株主資本で直接認識される組替調整されない損益：		
- FVTPLで測定するものとして指定された 金融負債の信用リスクの変動に起因する 公正価値の変動	(1)	2
組替調整されない損益合計	(1)	2
株主資本で直接認識される損益	(30)	(106)
合計	157	(6)
- うちハイブリッド資本所有者に帰属	21	0
- うち株主に帰属	136	(6)

連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万ユーロ)

	2021年上半期	2020年上半期
営業活動によるキャッシュフロー		
税引前当期利益	258	148
調整：		
- 減価償却費	1	2
- 減損	(7)	28
- 純損益を通じて測定される未実現損益	(44)	24
営業資産および負債の変動：		
- 銀行預入金および銀行借入金（要求払以外）の変動	544	(44)
- 差入現金担保および受入現金担保の変動	5,257	(4,078)
- レポ取引およびリバースレポ取引の変動	1	-
- 貸付金および前渡金の変動	752	(301)
- 受託資金の変動	433	301
- デリバティブの変動	136	(85)
- 支払法人税	(81)	(77)
- 営業活動によるその他の変動	(259)	(118)
営業活動によるキャッシュフロー純額	6,991	(4,200)
投資活動によるキャッシュフロー		
投資および取得：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	(2)	(1)
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	(4,928)	(2,723)
- 償却原価で測定される利付有価証券	(598)	(1,668)
- 関連会社および共同支配企業に対する投資	-	-
- 有形固定資産	(1)	(1)
処分および償還：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	58	285
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	4,698	1,755
- 償却原価で測定される利付有価証券	771	1,459
- 関連会社および共同支配企業に対する投資	-	-
投資活動によるキャッシュフロー純額	(2)	(894)
財務活動によるキャッシュフロー		
受取額：		
- 欧州中央銀行資金供給（TLTRO）	6,000	8,000
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	-	6
- 負債証券	163,738	97,302
支払額：		
- 純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	(30)	(16)
- 負債証券	(163,247)	(93,748)
- 劣後債務	(1)	0
- ハイブリッド資本に係る利息支払い	(25)	(25)
- 株主に対する配当金	(24)	-
財務活動によるキャッシュフロー純額	6,411	11,519

	2021年上半期	2020年上半期
現金および現金同等物の純変動	13,400	6,425
1月1日現在の現金および現金同等物	2,315	1,276
6月30日現在の現金および現金同等物	15,715	7,701
6月30日現在の現金および現金同等物：		
- 現金および中央銀行残高	15,713	7,695
- 「銀行預入金」項目における現金同等物	3	7
- 「銀行借入金」項目における現金同等物	(1)	(1)
	15,715	7,701
営業活動によるキャッシュフローに対する注記		
受取利息額	2,183	2,957
支払利息額	(2,009)	(2,813)
	174	144

連結株主資本変動計算書

(単位:百万ユーロ)

計算書の数値はすべて税引後である。

2021年上半期											
	資本金	資本 準備金	再評価 剰余金	キャッ シュフ ロー・ ヘッジ 準備金	自己 信用 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	株主に 帰属 する 持分	ハイブ リッド 資本	合計
2021年1月1日											
現在の残高	139	6	86	11	5	184	3,712	221	4,364	733	5,097
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	187	187	-	187
自己信用調整 (OCA)の変動	-	-	-	-	(1)	-	-	-	(1)	-	(1)
ヘッジコスト 準備金の変動	-	-	-	-	-	(1)	-	-	(1)	-	(1)
未実現損益	-	-	(26)	(2)	-	-	-	-	(28)	-	(28)
包括利益合計	-	-	(26)	(2)	(1)	(1)	-	187	157	-	157
BNG銀行株主に 対する配当金 未払配当金 (「その他の負 債」に計上)											
	-	-	-	-	-	-	(148)	-	(148)	-	(148)
ハイブリッド 資本所有者に 対する利息支払い											
	-	-	-	-	-	-	(21)	-	(21)	-	(21)
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	221	(221)	-	-	-
2021年6月30日											
現在の残高	139	6	60	9	4	183	3,740	187	4,328	733	5,061
2020年上半期											
	資本金	資本 準備金	再評価 剰余金	キャッ シュフ ロー・ ヘッジ 準備金	自己 信用 調整	ヘッジ コスト 準備金	利益 剰余金	未処分 利益	株主に 帰属 する 持分	ハイブ リッド 資本	合計
2020年1月1日											
現在の残高	139	6	84	13	8	174	3,567	163	4,154	733	4,887
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	100	100	-	100
自己信用調整 (OCA)の変動	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	2
ヘッジコスト 準備金の変動	-	-	-	-	-	(86)	-	-	(86)	-	(86)
未実現損益	-	-	(24)	2	-	-	-	-	(22)	-	(22)
包括利益合計	-	-	(24)	2	2	(86)	-	100	(6)	-	(6)
BNG銀行株主に 対する配当金											
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ハイブリッド 資本所有者に 対する利息支払い											
	-	-	-	-	-	-	(25)	-	(25)	-	(25)
前年度利益処分額	-	-	-	-	-	-	163	(163)	-	-	-
2020年6月30日											
現在の残高	139	6	60	15	10	88	3,705	100	4,123	733	4,856

連結中間財務書類の会計原則

会社概要

連結中間報告書は、2021年9月3日に執行委員会により公開を目的として作成および発行される。BNG銀行N.V.(以下「BNG銀行」という。)は、オランダの法律に基づく法定二段構造企業である。BNG銀行の資本金の半分をオランダ王国政府が所有し、残りの半分を州、地方自治体および地域治水委員会が所有している。BNG銀行は、オランダ、ハーグ Koninginnegracht 2 に登録事務所を置き(商工会議所番号27008387で登録)、支店はない。

適用法令

中間財務書類は、欧州連合により採用されているIAS第34号「中間財務報告」に準拠して作成される。

本中間財務書類には、連結財務書類に必要な情報および開示のすべてが記載されるわけではないため、欧州連合(EU)により採用されているIFRSおよびオランダ民法典第2編第9章の適用ある条項に準拠して作成されたBNG銀行の2020年度連結財務書類と併せて読む必要がある。本報告書で使用されている会計方針は、BNG銀行の2020年度連結財務書類の注記に記載されているものと一致している。ただし、「会計方針の変更」および「EUにより採用され2021年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準」の項目に記載された会計方針の変更を除く。

一般に、BNG銀行は、EUにより採用されていないIASB発行の新規または改訂基準および解釈指針を適用しない。BNG銀行は、EUにより採用された2021年1月1日より後の事業年度に強制適用される改訂基準および解釈指針の早期適用を原則として行わないことも決定した。金利指標改革フェーズ1に関連する改訂については、除外されている。詳細は、2020年度財務書類に記載されている。

以下の新規または改訂基準、解釈指針および改善の適用により、BNG銀行の評価、損益の決定および開示の面で、本2021年度連結中間報告書において重要な調整は行われなかった。

EUにより採用され2021年1月1日以降に発効した、適用されている会計基準

- ・金利指標改革フェーズ2に関するIFRS第9号、IAS第39号、IFRS第7号、IFRS第4号およびIFRS第19号の改訂：2020年8月にIASBにより発行され、2021年1月13日にEUにより承認された改訂。本改訂は、IBORを無リスク金利に置き換える際に発生する会計上の問題に対処するものである。IBORの置き換えはまだ行われていないため、本改訂の実施による中間財務書類への影響はなかった。BNG銀行は、当年第3四半期にIBORから無リスク金利への置き換えを開始する予定であるが、このIBOR改革による財務書類への影響は限定的と見込まれている。
- ・IFRS第4号「保険契約」の改訂：2020年6月25日にIASBにより発行され、2020年12月15日にEUにより承認された改訂。BNG銀行は顧客との間で保険契約を締結していないため、財務書類への影響はない。
- ・IFRS第16号「リース」の改訂：2021年3月31日にIASBにより発行され、2021年4月2日にEUにより承認された、2021年6月30日以降のCOVID-19に関連する賃料減免。本改訂は、2021年4月1日から発効したが、BNG銀行は本改訂が適用されるリースを有していない。

EUにより採用されていない未適用の会計基準

当報告期間または将来の報告期間および予測可能な取引において、BNG銀行に重要な影響を及ぼすと見込まれる、未発効の他の基準はない。

損益の評価および決定に適用される重要な会計原則

連結中間報告書は、継続企業の前提に基づき作成される。貸借対照表項目のほとんどは、償却原価で評価される。貸借対照表項目「純損益を通じて公正価値で測定される（FVTPL）金融資産」、「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される（FVOCI）金融資産」、「デリバティブ」および「純損益を通じて公正価値で測定される（FVTPL）金融負債」は、公正価値で測定される。貸借対照表項目「関連会社および共同支配企業」は、持分法に準拠し表示される。貸借対照表項目「有形固定資産」は、減価償却累計額控除後の原価で表示される。収益は、BNG銀行に経済価値が発生する見込みがあり、かつ信頼性を持って収益を決定できる場合に認識される。費用は、可能な場合、サービスが提供された期間またはこれらの費用を相殺する関連した収益に割り当てられる。詳細については、個々の貸借対照表項目に係る会計原則を参照のこと。

ユーロはBNG銀行が使用する機能通貨であり報告通貨である。別段の記載がない限り、連結財務書類において、金額はすべて百万ユーロで表示される。

連結の会計原則

連結中間報告書の作成に使用される親会社とその子会社の中間報告書は、同一の報告日時点で作成され、同一の原則に基づく。収益、費用、配当金等のグループ会社内取引および残高のすべては、連結中間報告書で完全に消去されている。連結に含まれる子会社の報告期間はBNG銀行と一致している。

本連結中間報告書は、親会社およびBNG銀行が支配するすべての子会社の中間決算から構成される。支配は、BNG銀行が投資者となっていることにより変動リターンに対するエクスポージャーを有し、当該投資に関係した活動に対するパワーを行使することで当該リターンに影響を及ぼすことができる場合に存在する。グループ会社は、支配を獲得した日から、支配が消滅する時まで、完全に連結対象となる。BNG銀行が受益権または持分を保有する投資ファンドの支配を有するか否かを決定する際には、参加者としてBNG銀行が保有する財務上の利害関係が考慮される。

会計方針の変更

IAS第12号第57A項に関するIFRIC解釈指針に加え、2021年10月1日から一般的な配当の制限を解除するとのECBの発表を契機に、ハイブリッド資本に係る利息支払いに関する税金は現在、税費用の一部として損益計算書に直接計上されている。2020年度末まで、これらの金額は繰延税金として計上されていた。これが2020年度に既に適用されていた場合、純利益は600万ユーロ増加した可能性がある。また、利益剰余金が600万ユーロ減少するため、株主資本への影響はゼロとなった可能性がある。

中間報告書に対するCOVID-19の影響

2021年度の初頭は、COVID-19感染症が増加し、ロックダウンが継続した。BNG銀行の業績への影響は依然として限定的であった。2021年第2四半期には、ワクチン接種計画が急ピッチで進み、収束と急激な経済成長に対する確信が強まった。2021年上半期におけるCOVID-19のパンデミックによるBNG銀行の業務への影響については、執行委員会の報告書を参照のこと。

COVID-19のパンデミックによる財務成績への影響ならびに使用される重要な見積りおよび方法の詳細は、関連する注記に記載されている。

セグメント別情報

BNG銀行は、リソース配分と業績測定を決定する際に、貸付業務および地域開発業務を区別している。BNG銀行は、その貸付業務の管理と設定において、異なるセグメントまたは事業ユニットを区別していない。BNG銀行の地域開発業務はその貸付業務と比較して重要ではない。したがって、本中間報告書にセグメント別情報は含まれていない。

配当

2019年度の配当金は7,100万ユーロ、2020年度の配当金は1億100万ユーロが、株主総会に提案された。2019年度の株主総会に先立ち、ECBは欧州の銀行に対して、配当金の支払いを差し控えるか、少なくとも（数回の延長により）2021年10月1日まで延期するよう勧告した。株主総会において、BNG銀行は、ECBの勧告に従うと発表した。2021年3月、BNG銀行は2,400万ユーロの配当金の支払いについてECBから同意を得たため、これは2021年上半期に支払われた。

2021年7月末、ECBは、2021年10月1日からこれらの一般的な配当の制限を解除すると発表した。BNG銀行は、2021年10月に残りの配当額1億4,800万ユーロを支払う予定である。

ハイブリッド資本所有者に対する2,500万ユーロの利息支払いは2021年上半期に分配される。この分配は、法人所得税上、損金算入可能である。BNG銀行は、2021年上半期の業績に係る中間配当を支払う予定はない。

連結中間財務書類に対する注記

1 負債証券

2021年上半期に、負債証券は4億ユーロ増加し1,090億ユーロとなった。これは、bond・ローンが49億ユーロ減少し、(コマーシャル・ペーパーの形による)短期資金調達が増加したためである。

BNG銀行は、その長期資金調達業務に関連して、2021年上半期に64億ユーロ(2020年上半期:98億ユーロ)の長期負債証券を発行した。報告期間における長期負債証券の償還価額合計は64億ユーロ(2020年上半期:81億ユーロ)であった。

2 利息損益

	2021年上半期	2020年上半期
受取利息		
実効金利法を用いて計算した受取利息:		
- 償却原価で測定される金融資産	935	1,034
- その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	36	61
- ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,058	1,175
- 金融負債に係るマイナスの支払利息	98	32
	2,127	2,302
その他の受取利息:		
- 純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	24	18
- 強制的に純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	1	1
- ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	92	213
- その他	-	-
	117	232
受取利息合計	2,244	2,534
支払利息		
実効金利法を用いて計算した支払利息:		
- 償却原価で測定される金融負債	635	1,038
- ヘッジ会計を適用するデリバティブ	1,180	1,166
- 金融資産に係るマイナスの支払利息	160	59
	1,975	2,263
その他の支払利息:		
- 純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債	12	15
- ヘッジ会計を適用しないデリバティブ	28	25
- その他	1	6
	41	46
支払利息合計	2,016	2,309
利息損益合計	228	225

2021年上半期におけるTLTRO第三弾の預金に係る受取利息は6,700万ユーロである。TLTRO取引の利息損益の算定には、予想優遇金利を含む金利が使用されている。条件が満たされない場合、これは利息損益の戻入れとして反映される。

3 金融取引損益

以下の表は、実現および未実現の市場価値変動による金融取引損益の内訳を示している。

	2021年上半期	2020年上半期
信用スプレッドおよび流動性スプレッドの変動に起因する、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の市場価値変動の構成：		
- 利付有価証券	(5)	(23)
- ストラクチャード・ローン	3	(13)
	(2)	(36)
ヘッジ会計による損益		
- ポートフォリオ公正価値ヘッジ会計	20	7
- ミクロ公正価値ヘッジ会計	4	16
- ミクロ・キャッシュフロー・ヘッジ会計	1	3
	25	26
デリバティブに係る取引先信用リスクの変動 (CVA / DVA)	17	(7)
売却および買取りによる実現損益	19	10
その他の市場価値変動	4	(7)
合計	63	(14)

金融取引損益は6,300万ユーロの利益（2020年度：1,400万ユーロの損失）であった。2020年同期と比べ増加した理由は、主に未実現の市場価値変動の推移である。2020年度に、この損益はCOVID-19のパンデミックの発生によりマイナスの影響を受けた。2021年度は、特に長期金利の上昇が未実現の公正価値調整の残高4,400万ユーロに寄与した。1,900万ユーロの実現損益は、主にBNG銀行の流動性ポートフォリオからの利付有価証券の売却によるものである。

4 金融資産およびオフバランスシート契約の減損

金融資産およびオフバランスシート契約の減損のステージ別内訳

以下の表は、減損の対象となる金融資産およびオフバランスシート契約の3つの減損のステージ別内訳を示している。

- ステージ1：当初認識以降、信用リスクの著しい増大（SICR）がない正常債権エクスポージャー
- ステージ2：当初認識以降に、信用リスクの著しい増大があった正常債権エクスポージャー
- ステージ3：不良債権エクスポージャー

2021年6月30日現在

帳簿価額	帳簿価額総額			信用損失引当金(評価性)		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
減損対象の金融資産						
現金および						
中央銀行残高	15,713	15,713	-	-	-	-
銀行預入金	127	127	-	0	-	-
差入現金担保	14,544	14,544	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産 ¹	9,474	9,412	62	-	-	-
償却原価で測定される利付有価証券	7,704	7,638	70	(1)	(3)	-
貸付金および前渡金	89,230	88,064	966	409	(7)	(13)
合計	136,792	135,498	1,098	409	(8)	(16)
						(189)

2021年6月30日現在

帳簿価額	額面金額			引当金(負債性)		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
オフバランスシート契約						
偶発債務	1,560	1	-	0	0	-
取消可能信用供与契約	6,465	143	13	0	-	-
取消不能信用供与契約	3,958	2	-	0	-	-
合計	11,983	146	13	0	-	-

2020年6月30日現在

帳簿価額	帳簿価額総額			信用損失引当金(評価性)		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
減損対象の金融資産						
現金および						
中央銀行残高	7,695	7,695	-	-	-	-
銀行預入金	59	59	-	0	-	-
差入現金担保	18,861	18,861	-	-	-	-
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産 ¹	10,213	10,153	60	-	0	(1)
償却原価で測定される利付有価証券	8,064	7,841	230	-	(1)	(6)
貸付金および前渡金	88,681	85,567	2,926	407	(9)	(29)
合計	133,573	130,176	3,216	407	(10)	(36)
						(181)

注1 その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に対する信用損失引当金はその他の包括利益に含まれており、(正味)帳簿価額には含まれていない。

2020年6月30日現在

	額面金額			引当金（負債性）		
	正常債権		不良債権	正常債権		不良債権
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
オフバランスシート契約						
偶発債務	1,646	1	-	-	-	-
取消可能信用供与契約	3,896	214	1	-	-	-
取消不能信用供与契約	5,430	151	25	(2)	(3)	-
合計	10,972	366	26	(2)	(3)	-

2021年6月30日現在、不良債権エクスポージャーは合計4億2,200万ユーロ（2020年度末：3億9,700万ユーロ）であった。不良債権エクスポージャーは、ポートフォリオ合計の0.3%（2020年度末：0.3%）を占め、11件の債務者（2020年度末：12件の債務者）に関係する。不良債権エクスポージャーの増加の一部は、正常債権から不良債権に移動した2件の債務者によるものである。債務者数の減少は、主に不良債権エクスポージャーの決済によるものである。BNG銀行は、不良債権エクスポージャーに関連して合計3,400万ユーロ（2020年度末：3,800万ユーロ）の政府保証を受けている。以下の表は、不良債権エクスポージャーの推移を示している。

	2021年上半期	2020年度
1月1日現在の不良債権エクスポージャー合計	397	321
既存の不良債権エクスポージャーの増加	5	0
正常債権から不良債権エクスポージャーへの移動	43	125
不良債権から正常債権エクスポージャーへの移動	-	-
不良債権エクスポージャーの返済および決済	(23)	(49)
期末現在の不良債権エクスポージャー合計	422	397

予想信用損失引当金の変動

以下の表は、金融資産に係る予想信用損失引当金（評価性）およびオフバランスシート契約に係る予想信用損失引当金（負債性）の変動を示している。

	2021年上半期					期末残高
	期首残高	組成および取得による増加	認識中止、返済および処分による減少	信用リスクの変動による変動（純額）	償却による引当金勘定の減少	
引当金（評価性）						
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0	-	0
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	1	0	0	(1)	-	0
償却原価で測定される利付有価証券	6	0	0	(2)	-	4
貸付金および前渡金	210	2	(4)	1	-	209
	217	2	(4)	(2)	-	213
引当金（負債性）						
オフバランスシート契約	4	0	(1)	(3)	-	0

	2020年上半期					期末残高
	期首残高	組成および 取得による 増加	認識中止、 返済および 処分による 減少	信用リスク の変動に よる変動 (純額)	償却による 引当金勘定の 減少	
引当金(評価性)						
現金および中央銀行残高	-	-	-	-	-	-
銀行預入金	0	0	0	0	-	0
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定される 金融資産	1	0	0	0	-	1
償却原価で測定される 利付有価証券	6	1	0	0	-	7
貸付金および前渡金	193	3	(3)	26	-	219
	200	4	(3)	26	-	227
引当金(負債性)						
オフバランスシート契約	5	1	(4)	3	-	5

契約上のキャッシュフローの変更

全期間の予想信用損失に基づく損失引当金が設定されている(すなわちステージ2または3)金融資産で、2021年上半期中に契約上のキャッシュフローが変更されたものはない。全期間の予想信用損失に相当する金額で測定された損失引当金が設定され(ステージ2または3)、過去の報告期間に条件変更が行われた金融資産で、2021年上半期中にステージ1に戻されたものはない。

主要なインプットおよび仮定

金融資産の予想信用損失(ECL)は、信用リスクの著しい増大(SICR)が発生したかどうかによって、12か月または全期間のどちらかに基づいて測定される。予想信用損失合計は、デフォルト確率(PD)、デフォルト時損失率(LGD)およびデフォルト時エクスポージャー(EAD)の結果を割り引いたものである。

デフォルト確率

PDは、ECLおよびSICRの決定における主要な構成要素として使用される。BNG銀行は、外部格付が入手できないエクスポージャーについて、主に専門家の判断に基づくPDモデルを開発した。IFRS第9号の遵守およびいわゆる「ポイント・イン・タイム」のPDを確保するため、BNG銀行は将来に関する情報(FLI)を含んだオーバーレイ・モデルを開発した。ステージの決定においては、将来に関する情報を調整済の信用格付が使用されている。BNG銀行は、財務書類内の他の関連する見積りに対するインプットと整合するような、経済予測に基づく3つの内部開発シナリオを適用している。提案されたマクロ経済予測は、外部のマクロ経済予測と比較され、シナリオの外部検証性を確保している。シナリオは、資産・負債委員会(ALCO)で承認されている。これによって、BNG銀行はPDが合理的かつ裏付可能であることを確保している。

デフォルト時損失率

信用ポートフォリオのデフォルト率が低く、過去の内部のLGDデータが不足しているため、BNG銀行はLGDモデルを確立することができない。したがって、BNG銀行はエクスポージャー全体に対して、4つの異なるLGD率を伴う基本的な一律LGDアプローチを適用している。

- ・ (オランダ) 中央政府または地方政府が交付または保証するエクスポージャーについて0%
- ・ EU内の中央政府または地方政府が発行する政府債について10%
- ・ 中央政府または地方政府の保証がないエクスポージャーおよび優先無担保債について35%
- ・ 劣後ローンについて75%

デフォルト時エクスポージャー

貸付金および利付有価証券(証券化を除く)に係るEADは、債務者が12か月間または全期間にわたって義務を負う契約上の返済額に基づく。任意返済または早期償還は、過去の実績から頻度が高くないため、考慮に入れていない。証券化に関する将来の契約上の返済額は、外部情報源から得られる見積定率期限前返済率に基づく。コミットメント(オフバランスシート)ファシリティの場合、最大エクスポージャーは、12か月間または全期間(減損のステージによる)のどちらかにおいて予想される融資枠の使用を反映するように調整される。

信用リスクの著しい増大

BNG銀行は、認識以降の信用リスクの著しい変動を評価するためのインプット・パラメータとして、将来に関する情報について調整されたポイント・イン・タイムPDを適用している。さらにBNG銀行は、信用リスクの著しい増大を判定するための補完基準として、支払猶予措置および30日超の期日経過を使用している。他方で、BNG銀行は認識以降の信用リスクの著しい変動のモニタリングについて、低信用リスクである場合の除外も適用している。この場合、信用リスクの著しい増大が生じているかを判定せずに、12か月間のECLを使用して減損が測定される。BNG銀行は、投資適格の格付を有する金融資産については「低信用リスク」とみなす。債券については、BNG銀行はBBB-以上を投資適格とみなしている。貸付金については、内部相手先信用格付を使用して投資適格であるかを判定している。内部相手先信用格付は、多数の市場セクター固有の内部格付モデルから導き出され、これらのモデルは外部的に検証されている。

BNG銀行は、ステージ3の減損金額を決定する際に、専門家を利用して判断を行っている。このアプローチは、特別管理部により金融商品レベルごとに実行される。

将来に関するマクロ経済情報

主要なマクロ経済変数を識別するために、過去のデータの分析が実施され、これらの変数は四半期毎に提供される。専門家による判断が適用され、資産・負債委員会（ALCO）により承認される。証券化以外についてデフォルト確率の決定に適用されるマクロ経済要素は、名目国内総生産（GDP）、失業率および雇用率である。証券化について適用されるマクロ経済要素は、住宅価格指数、長期金利および債務である。シナリオに対する加重は、BNG銀行がCOVID-19のパンデミックの中で得た1年半の経験に基づき、2020年度の加重と比較して調整された。

2020年度に、BNG銀行は、COVID-19のパンデミック中に認識された、関連データが将来予測の領域から外れることによるショックを防ぐ、指数加重移動平均（EWMA）と呼ばれる追加の要素を導入した。2021年上半期の評価において、BNG銀行はEWMAを0%（2020年度：48%）に引き下げると決定し、これによりEWMAの影響はなくなった。証券化のモデルで2020年度に適用されたEWMAが0%であったため、これは証券化以外のモデルにのみ影響する。信用損失引当金の感応度分析の一環として、シナリオFで48%のEWMAが適用されている。

証券化

マクロ経済変数	2021年6月30日現在の期間	2020年12月31日現在の期間
ユーロ圏（17か国）の住宅価格指数	3年	3年
ユーロ圏（19か国）の長期金利	3年	3年
ユーロ圏の債務（家計およびNPISHへの貸付） ¹	3年	3年

シナリオ	2021年6月30日現在の加重	2020年12月31日現在の加重
基本シナリオ	70%	65%
上昇シナリオ	10%	5%
下降シナリオ	20%	30%

注1 対家計非営利団体

証券化以外

マクロ経済変数	2021年6月30日現在の期間	2020年12月31日現在の期間
オランダの国内総生産（GDP）	3年	3年
オランダの失業率	3年	3年
雇用率	3年	3年

シナリオ	2021年6月30日現在の加重	2020年12月31日現在の加重
基本シナリオ	70%	65%
上昇シナリオ	20%	5%
下降シナリオ	10%	30%

不良債権エクスポージャー

BNG銀行は、以下の基準のいずれかを満たす場合、不良債権の定義と完全に合致している金融商品を債務不履行と定義する。

- ・ BNG銀行が、債務者によるBNG銀行に対する信用債務の支払可能性が低いとみなしている。
- ・ 債務者によるBNG銀行に対する重要な信用債務の支払いが90日以上遅延している。

BNG銀行は、「支払可能性が低いこと」について以下の指標を採用している。

- ・ 債務者の収入源が、支払債務を履行するには不十分とみなされる。
- ・ 将来キャッシュフローに対する疑義の兆候が見られる。
- ・ 債務者の負債比率が著しく上昇した。
- ・ 1件以上の約款違反が発生した。
- ・ BNG銀行が保証の実行を求めたまたは担保権を実行した。
- ・ 他の債権者に対する著しい支払遅延（登記所に記録された）。
- ・ 債務者の市場セクターに経済的危機があり、同セクター内の債務者が信用弱者とみなされている。
- ・ 財務的困難により、債務者は市場セクターにおいて活発に活動しているとはみなされなくなった。
- ・ BNG銀行以外の債権者が当該債務者の破産を申し立てた。

信用損失引当金の感応度分析

2021年6月30日現在の信用損失引当金の金額の（再）計算において、インプットの変動を識別する信用損失引当金の感応度を測定するため、異なるシナリオが使用されている。

シナリオA

シナリオAでは、減損の対象となるすべての個別エクスポージャーの信用格付が1ノッチ引き下げられる（例えば、AAAからAA+）。これらの（引き下げられた）信用格付およびそれに伴うPDがステージ分類評価および信用損失引当金の計算に適用される。その結果、一部のエクスポージャーがステージ1からステージ2に振り替えられる。EADおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

シナリオB

シナリオBでは、通常はLGDが0%のエクスポージャーのLGDを10%とする。通常はLGDが10%、35%または75%のエクスポージャーのLGDは変更されない。EAD、信用格付およびPDについても、ベース水準からの変更はない。

シナリオC

シナリオCでは、信用損失引当金の計算がポイント・イン・タイムPDではなく、「スルー・ザ・サイクル」PDを使用して実施される。すなわち、将来に関するマクロ経済情報を組み込まないPDが計算に使用される。EAD、信用格付、ステージレベルおよびLGDについては、ベース水準からの変更はない。

シナリオD

シナリオDでは、信用損失引当金の計算がEWMA70%に基づいて行われる。PDはベース水準から変更される。このシナリオは2021年中間期には計算されていない。

シナリオE

シナリオEでは、デフォルト確率はEWMA0%に基づいて計算される。2021年6月30日現在の基本シナリオはEWMA0%であるため、このシナリオはもはや適用されない。

シナリオF

シナリオFでは、デフォルト確率はEWMA48%に基づいて計算される。この結果、証券化以外について、PDおよびステージレベルが変更される。

以下の表は、4つのシナリオにおける信用損失引当金合計の感応度を示している。

		2021年6月30日現在				
		シナリオA (1ノッチ 引き下げ)	シナリオB (LGDを0% から10%に)	シナリオC (スルー・ザ・ サイクルPD)	シナリオF (EWMA48%)	
		実際の計上額				
引当金(評価性)						
現金および中央銀行残高		-	-	-	-	-
銀行預入金		0	0	0	0	0
その他の包括利益を 通じて公正価値で測定 される金融資産		0	0	1	0	0
償却原価で測定される 利付有価証券		4	5	4	4	4
貸付金および前渡金		209	222	227	215	215
		213	227	232	219	219
引当金(負債性)						
オフバランスシート契約		0	0	2	0	0
		2020年12月31日現在				
		シナリオA (1ノッチ 引き下げ)	シナリオB (LGDを0% から10%に)	シナリオC (スルー・ ザ・ サイクルPD)	シナリオD (EWMA70%)	シナリオE (EWMA0%)
		実際の計上額				
引当金(評価性)						
現金および中央銀行残高		-	-	-	-	-
銀行預入金		0	0	0	0	0
その他の包括利益を 通じて公正価値で測定 される金融資産		1	1	1	1	1
償却原価で測定される 利付有価証券		5	8	6	6	6
貸付金および前渡金		210	233	243	209	220
		216	242	250	216	227
引当金(負債性)						
オフバランスシート契約		4	6	5	4	5

5 分類別の金融商品の内訳

2021年6月30日現在

	償却原価	その他の包括		合計
		純損益を通じて 公正価値で測定	損益を通じて 公正価値で測定	
現金および中央銀行残高	15,713	-	-	15,713
銀行預入金	127	-	-	127
差入現金担保	14,544	-	-	14,544
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	1,376	-	1,376
デリバティブ	-	6,167	-	6,167
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	9,474	9,474
償却原価で測定される利付有価証券	7,704	-	-	7,704
貸付金および前渡金	89,230	-	-	89,230
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	15,100	-	-	15,100
資産合計	142,418	7,543	9,474	159,435
銀行借入金	18,730	-	-	18,730
受入現金担保	1,191	-	-	1,191
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	625	-	625
デリバティブ	-	18,733	-	18,733
負債証券	109,026	-	-	109,026
受託資金	6,068	-	-	6,068
劣後債務	35	-	-	35
負債合計	135,050	19,358	-	154,408

2020年12月31日現在

	償却原価	その他の包括		合計
		純損益を通じて 公正価値で測定	損益を通じて 公正価値で測定	
現金および中央銀行残高	2,312	-	-	2,312
銀行預入金	120	-	-	120
差入現金担保	20,361	-	-	20,361
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	-	1,452	-	1,452
デリバティブ	-	8,540	-	8,540
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	-	-	9,738	9,738
償却原価で測定される利付有価証券	7,880	-	-	7,880
貸付金および前渡金	88,942	-	-	88,942
ポートフォリオ・ヘッジ会計を適用する 貸付金に対する価値調整	20,816	-	-	20,816
資産合計	140,431	9,992	9,738	160,161
銀行借入金	12,221	-	-	12,221
受入現金担保	858	-	-	858
純損益を通じて公正価値で測定される 金融負債	-	656	-	656
デリバティブ	-	26,965	-	26,965
負債証券	108,615	-	-	108,615
受託資金	5,599	-	-	5,599
劣後債務	35	-	-	35
負債合計	127,328	27,621	-	154,949

6 金融商品の公正価値

公正価値とは、意思または能力にかかわらず、現在の市場状況の下、測定日時時点で、市場参加者間の秩序ある取引により、資産が売却された場合に受け取るであろう移転価格（取引費用調整前）または負債が移転された場合に支払うであろう価格である。評価が市場参加者の観点から行われる必要があるということを想定しており、これにより、金融商品の固有の特徴および制限のみが考慮される。3つのレベルの公正価値の間で区別がなされ、インプットの性質およびその全体の評価にとっての重要性がヒエラルキーの正しい分類にとって決定的である。

公正価値ヒエラルキー

- ・ レベル1：活発な市場における、当該商品の、または入手できない場合は同一商品の、（未調整の）相場価格に基づく評価。金融商品は、相場価格が定期的に入手可能である場合、ならびにそれらの価格が現在および定期的に生じる独立当事者間の市場取引を反映している場合に、活発な市場での相場価格があるとみなされる。金融資産および負債の相場価格は、中間相場価格に基づいている。
- ・ レベル2：レベル1で使用された相場価格を除く、直接的または間接的に観察可能な市場データを用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、類似した商品の活発な市場での相場価格、同一もしくは類似した商品の活発とはみなされない市場での相場価格、またはすべて市場データから直接的もしくは間接的に観察可能な重要なインプットによるその他の評価技法を用いて評価される商品を含む。
- ・ レベル3：市場で公表されない観察不能なインプットを大幅に用いた評価技法に基づく評価。このカテゴリーは、観察可能な市場データに基づかないインプットを用いた評価技法による商品を含み、そのため、観察不能な市場データが商品の評価に重要な影響を与える。このカテゴリーはまた、類似した商品の相場価格に従って評価された商品も含み、これにより重要で公には観察不能な変更または前提が、商品間の差異を示すために必要となる。

可能な場合、BNG銀行は、価格カーブおよび資金調達カーブを決定するために、相場価格（レベル1）を使用する。BNG銀行は、評価目的で中間相場価格を使用する。中間相場価格の使用は、金融資産および金融負債の市場リスクが相殺される場合、認められている。

多くの場合、BNG銀行は債務者に関し理論的な評価（レベル2）に依拠している。かかる場合は、一般的に金融業界で使用される評価モデルおよび技法に基づき公正価値が決定される。これらの大部分は純現在価値計算に基づくモデルおよびオプション価格モデルである。これらのモデルのための変数は、市場価格、フォワード価格設定、割引の市場条件に沿ったイールド曲線、相関、ボラティリティ、クロスカレンシー・スワップのベース・スプレッド、取引先の信用力ならびに市場当事者が価格決定に使用するその他の要因、見積り、仮定等の直接的または間接的に客観的に観察可能なインプットに基づく。BNG銀行は、いわゆるスプレッド曲線を、理論的な評価が必要な信用および流動性リスクに関連する金融商品の公正価値を決定するために使用する。これらのスプレッド曲線は、関連する金利曲線ならびに信用および流動性リスクのスプレッドに基づき作成される。信用リスク・スプレッドは、受入担保、保証および満期を考慮に入れ、債務者の信用度に左右される。流動性リスク・スプレッドは、商品の市場性の程度に左右される。個々の顧客および金融商品のリスク・プロファイルは、少なくとも四半期に1回評価される。必要な場合、信用リスク・スプレッドが調整される。

ごく限られた場合に、BNG銀行の金融商品の評価は、かなりの程度まで、市場で公表されない観察不能なインプットおよび経営陣の見積り（レベル3）に基づいている。2020年度末現在、レベル3項目に分類された金融商品はすべて、「純損益を通じて公正価値で測定される金融資産」として計上されている。

デリバティブ取引の公正価値決定の際に、信用評価調整（CVA）および債務評価調整（DVA）が、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結していないすべての顧客および金融取引先とのデリバティブ取引すべてに適用される。CVAおよびDVAはまた、BNG銀行が日次の担保交換に関する契約を締結したが、担保額の算定において重要な閾値が適用される顧客または取引先とのデリバティブ取引すべてに適用される。

BNG銀行は自己の信用リスクの決定において、関連するスワップ・カーブに対するスプレッド、すなわち「自己信用調整（OCA）」を適用している。OCAは、「純損益を通じて公正価値で測定される金融負債」に含まれる商品のみに関連する。

金融商品がフォワード契約の性格を持つ限り、フォワード・イールド曲線およびフォワード為替相場などの公表されているフォワード価格が使用される。複雑な商品の場合、商品の構成要素は、上記の技法およびモデルに基づき個別に測定される。商品全体の公正価値は構成要素の公正価値の合計として決定される。BNG銀行は、各報告期間末の財務ポジション処理のために継続的に測定される経常的な公正価値のみを適用する。

	2021年6月30日現在		2020年12月31日現在	
	貸借対照表 価額	公正価値	貸借対照表 価額	公正価値
現金および中央銀行残高	15,713	15,713	2,312	2,312
銀行預入金	127	129	120	129
差入現金担保	14,544	14,544	20,361	20,361
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	1,376	1,376	1,452	1,452
デリバティブ	6,167	6,167	8,540	8,540
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	9,474	9,474	9,738	9,738
償却原価で測定される利付有価証券	7,704	7,908	7,880	8,012
貸付金および前渡金	89,230	105,238	88,942	110,373
金融資産合計	144,335	160,549	139,345	160,917
銀行借入金	18,730	18,639	12,221	12,147
受入現金担保	1,191	1,191	858	858
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	625	625	656	656
デリバティブ	18,733	18,733	26,965	26,965
負債証券	109,026	109,874	108,615	109,356
受託資金	6,068	6,219	5,599	5,775
劣後債務	35	44	35	45
金融負債合計	154,408	155,324	154,949	155,802

取引を行う際、公正価値のヒエラルキー分類は、分類を決定付けるインプット要因の性質およびその評価全体への重要性を踏まえた、評価に関連する特徴に基づいて決定されている。分類は、取引全体として公正価値に重要性のあるインプットのレベルのうち最も低いものに基づいて行われる。重要性は、評価全体の結果に対する観察不能なインプット要因の影響を、これらの観察不能なインプット要因に関する代替的な仮定の範囲を考慮に入れて決定することにより評価される。四半期毎に、各取引のヒエラルキー分類は評価され、必要な場合、調整される。

以下の表は、公正価値で認識される取引の公正価値ヒエラルキーの概要を示している。

	2021年6月30日現在			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	102	1,089	185	1,376
デリバティブ	-	6,167	-	6,167
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	9,380	94	-	9,474
金融資産合計	9,482	7,350	185	17,017
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	120	505	-	625
デリバティブ	-	18,733	-	18,733
金融負債合計	120	19,238	-	19,358

	2020年12月31日現在			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	107	1,150	195	1,452
デリバティブ	-	8,540	-	8,540
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産	9,595	143	-	9,738
金融資産合計	9,702	9,833	195	19,730
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債	117	539	-	656
デリバティブ	258	26,707	-	26,965
金融負債合計	375	27,246	0	27,621

レベル3項目の公正価値の重要な変動

	2021年上半期
	純損益を通じて公正価値で測定される金融資産
期首残高	195
純損益を通じた損益：	
- 利息損益	5
- 未実現金融取引損益	(10)
- 実現金融取引損益	-
	(5)
- 再評価剰余金を通じた	
未実現価額調整	-
- 投資 / 処分	-
- キャッシュフロー	(5)
期末残高	185

	2020年上半期		
	純損益を通じて公正価値で 測定される金融資産	デリバティブ (資産として計上)	デリバティブ (負債として計上)
期首残高	441	5	4
純損益を通じた損益：			
- 利息損益	3	2	2
- 未実現金融取引損益	(3)	(4)	(4)
- 実現金融取引損益	(3)	-	-
	(3)	(2)	(2)
- 再評価剰余金を通じた 未実現価額調整	-	-	-
- 投資/処分	(239)	-	-
- キャッシュフロー	(3)	(1)	(1)
期末残高	196	2	1

レベル3項目は、ほとんど取引されない仕組利付有価証券に関係する。したがって、類似の有価証券について入手できる観察可能な市場データは現在の公正価値を完全に反映するものではない。これらの取引の公正価値は、公表された市場データに基づいて決定され、重要な、市場で公表されない観察不能なインプットを用いて調整される。報告期間中、レベル3からの再分類およびレベル3への再分類は行われなかった。

市場で公表されない観察不能なインプット

モノライン保険会社による保証付のインフレ連動型利付有価証券のスプレッドを決定するため、以下の市場で公表されない観察不能なインプットが使用される。

- ・ 関連する債務者（40%）および関連するモノライン保険会社（30%）の回収率
- ・ 債務者とモノライン保険会社間の相関係数（20%）

これらのインプットは、2020年度と比べ変動していない。

重要なインプット要因の変動に対するレベル3資産および負債の公正価値の感応度

感応度分析では、金利、インフレ、流動性および信用スプレッドの要素が、個別および相関数値の双方で示されている。以下の表は、これらの重要なインプット要因が個別に絶対的平行に変動した場合のレベル3資産の感応度を示している。これらのインプット要因の間に直接の依存関係はないものの、これらの3つのインプット要因が同時変動した場合の商品の全体的な感応度も示されている。

	2021年6月30日現在	2020年12月31日現在
	純損益を通じて公正価値で測定される金融資産	
貸借対照表価額	185	195
金利		
+10ベース・ポイント	(2)	(2)
-10ベース・ポイント	2	2
+100ベース・ポイント	(18)	(19)
-100ベース・ポイント	21	23
インフレ率		
+10ベース・ポイント	2	2
-10ベース・ポイント	(2)	(2)
+100ベース・ポイント	18	21
-100ベース・ポイント	(16)	(18)
信用および流動性リスク・スプレッド		
+10ベース・ポイント	(2)	(2)
-10ベース・ポイント	2	2
+100ベース・ポイント	(18)	(20)
-100ベース・ポイント	21	24
重要なインプット要因の合計		
+10ベース・ポイント	(2)	(2)
-10ベース・ポイント	2	3
+100ベース・ポイント	(20)	(21)
-100ベース・ポイント	23	26

BNG銀行は、ほぼすべての金利リスクをスワップを通じてヘッジしている。このため、金利曲線単独の変動により生じる利付有価証券の公正価値変動は、BNG銀行の損益および株主資本に限定された影響しか与えない。資産および関連スワップの満期までに、これらの市場価値の変動は、すべての当事者が支払義務を果たすことを条件に、ゼロに近づくと見込まれる。他方で、信用リスクおよび流動性リスク・スプレッドの変動により生じた金利変動は、金融商品が公正価値で測定される場合、損益および株主資本に直接影響を与える。

貸借対照表項目「純損益を通じて公正価値で測定される金融資産」のレベル3商品の主要な部分（1億7,600万ユーロ）は、いわゆる2件のインフレ連動債から成り、その金利リスクおよびインフレ・リスクはスワップを用いてヘッジされている。取引のデフォルト・リスクは、いわゆるモノライン保険会社が発行した保証を通じて購入時に保証される。かかる保証の価値をゼロと設定したとすると、これは、金融取引損益に対して2021年上半期末にマイナスの未実現効果1,100万ユーロ（2020年度末：マイナス3,900万ユーロ）となっていた。これらの債券のうち1件は2021年上半期に格下げされた。このため、債券の価値が大幅に低下し、モノライン保証の価値も低下した。

償却原価による取引の公正価値ヒエラルキー

以下の表は、貸借対照表上、償却原価で認識される取引の公正価値を決定する方法の概要を示している。

	2021年6月30日現在			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	15,713	-	-	15,713
銀行預入金	4	120	5	129
差入現金担保	-	14,544	-	14,544
償却原価で測定される利付有価証券	128	7,299	481	7,908
貸付金および前渡金	716	96,310	8,212	105,238
金融資産合計	16,561	118,273	8,698	143,532
銀行借入金	1	18,638	-	18,639
受入現金担保	-	1,191	-	1,191
負債証券	84,538	25,336	-	109,874
受託資金	3,274	2,072	873	6,219
劣後債務	-	44	-	44
金融負債合計	87,813	47,281	873	135,967

	2020年12月31日現在			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金および中央銀行残高	2,312	-	-	2,312
銀行預入金	4	119	6	129
差入現金担保	-	20,361	-	20,361
償却原価で測定される利付有価証券	293	7,244	475	8,012
貸付金および前渡金	951	100,980	8,442	110,373
金融資産合計	3,560	128,704	8,923	141,187
銀行借入金	1	12,146	-	12,147
受入現金担保	-	858	-	858
負債証券	88,092	21,264	-	109,356
受託資金	2,800	2,049	926	5,775
劣後債務	-	45	-	45
金融負債合計	90,893	36,362	926	128,181

レベル3に含まれる償却原価で測定される金融資産は主に、BNG銀行の法定顧客に対する自己資本要件が課される貸付金および前渡金に関連する。政府保証に基づく法定取引先に対する貸付金および前渡金は、オランダ王国が発行した債券との強い相関のため、レベル2に含まれる。レベル1に含まれる償却原価で測定される金融負債は、BNG銀行が発行した譲渡可能なベンチマーク債券（「負債証券」項目）に関連する。民間借入はレベル3（「負債証券」および「受託資金」項目）に分類される。

7 信用リスク

支払猶予されたエクスポージャー

支払猶予は、債務者の不安定な財務ポジションの結果、債務者がその債務を果たすことができるよう債務者のために信用条件が変更された信用契約に関連する。モラトリアムに基づき支払猶予期間が与えられているエクスポージャーは、支払猶予として表示されない。

	2021年6月30日現在			合計に占める割合
	エクスポージャー 合計	うち支払猶予		
		減損控除前	減損控除後	
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	15,713	-	-	0.0%
銀行預入金	127	-	-	0.0%
差入現金担保	14,544	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	1,376	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	9,474	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	7,704	-	-	0.0%
貸付金および前渡金	89,230	305	278	0.3%
	138,168	305	278	0.2%

オフバランスシート契約				
偶発債務	1,561	-	-	0.0%
取消可能信用供与契約	6,621	8	8	0.1%
取消不能信用供与契約	3,960	-	-	0.0%
	12,142	8	8	0.1%

	2020年12月31日現在			合計に占める割合
	エクスポージャー 合計	うち支払猶予		
		減損控除前	減損控除後	
金融資産（デリバティブを除く）				
現金および中央銀行残高	2,312	-	-	0.0%
銀行預入金	120	-	-	0.0%
差入現金担保	20,361	-	-	0.0%
純損益を通じて公正価値で測定される 金融資産	1,452	-	-	0.0%
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産	9,738	-	-	0.0%
償却原価で測定される利付有価証券	7,880	-	-	0.0%
貸付金および前渡金	88,942	392	351	0.4%
	130,805	392	351	0.3%

オフバランスシート契約				
偶発債務	1,517	-	-	0.0%
取消可能信用供与契約	3,676	8	8	0.2%
取消不能信用供与契約	5,694	5	5	0.1%
	10,887	13	13	0.1%

債務者の不利な財務ポジションの結果として契約条項が変更された信用契約は、2021年6月30日現在3億1,300万ユーロ（減損控除前）（2020年12月31日現在：4億500万ユーロ）であった。支払猶予されたエクスポージャー合計は、11件の債務者（2020年度末：16件の債務者）に関係する。2021年上半年期において、BNG銀行によって新たに支払猶予措置は取られなかった。

不良債権

BNG銀行の不良債権エクスポージャーの定義の開示については、注記4（金融資産およびオフバランスシート契約の減損）を参照のこと。不良債権に分類されるエクスポージャーは、以下のすべての条件を満たす場合、再び正常債権とみなされる。

- ・ 債務者が再び、すべての契約条件を満たしている（債務不履行は生じていない）。
- ・ 既存または変更後の支払条件に従って、債務者の状況が、債務者が債務を返済することができる程度まで改善している（「支払可能性がある」）。
- ・ 債務者に90日を超える支払いの遅延がない。

正常債権の支払遅延エクスポージャーの満期分析

数値は、IFRS第9号に基づく減損ステージ3に含まれない支払遅延エクスポージャーで構成されている。モラトリアムに基づき支払猶予期間が与えられているエクスポージャーは、支払遅延として表示されない。

	2021年6月30日現在	2020年12月31日現在
31日未満	16	12
31日以上60日以下	1	0
61日以上90日以下	-	-
90日超	5	-
期末残高	22	12

モラトリアム

COVID-19のパンデミックに伴い、オランダ国内の銀行は、支払期限を延期することで協力して顧客支援を行った。これまでのところ、BNG銀行は、エクスポージャーが250万ユーロ未満の事業融資商品を有する顧客に対してモラトリアムを共同発動した。繰り延べられていた支払いはすべて受領済である。このモラトリアムは期限を迎えた。

2020年12月31日現在、モラトリアム対象の貸付金および前渡金の帳簿価額総額は700万ユーロであった。2020年12月31日現在、11件の債務者に対してモラトリアムが提供された。繰り延べられていた支払いはすべて受領済である。

金融資産および金融負債（デリバティブ）のネットティング

BNG銀行がデリバティブ取引を締結する準備を整えている金融相手先は、信用リスクを減らすためにネットティング契約が提供される。さらに、相対の担保契約が締結される。これらにより、市場価額の動向を担保によって日次で緩和できるようにしている。契約は、規制の変更に応じて必要があれば更新される。これらの契約は、キャッシュフローが中央清算参加者を通じて相殺されない限り、貸借対照表上のネットティングの対象ではない。以下の表は、貸借対照表上のネットティング前の総額ポジション、および担保契約を考慮に入れた場合の総額ポジションを示している。

	2021年6月30日現在		
	デリバティブ (資産として計上)	デリバティブ (負債として計上)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	10,059	(22,626)	(12,567)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(3,893)	3,893	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 (ネットティング後)	6,166	(18,733)	(12,567)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(3,839)	3,839	0
担保考慮前のエクスポージャー	2,327	(14,894)	(12,567)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(1,191)	14,528	13,337
正味エクスポージャー	1,136	(366)	770

	2020年12月31日現在		
	デリバティブ (資産として計上)	デリバティブ (負債として計上)	純額
金融資産および金融負債（デリバティブ）の ネットティング			
貸借対照表上のネットティング前の金融資産 および負債の総価額	12,367	(30,792)	(18,425)
ネットティングされる金融資産および負債の総価額	(3,827)	3,827	0
金融資産および負債の貸借対照表価額 (ネットティング後)	8,540	(26,965)	(18,425)
ネットティング目的でIAS第32号（同一相手先との デリバティブのネットティング）に適合しない 金融ネットティング商品の価額	(6,459)	6,459	0
担保考慮前のエクスポージャー	2,081	(20,506)	(18,425)
ネットティング目的でIAS第32号に適合しない 金融担保の価額	(858)	20,383	19,525
正味エクスポージャー	1,223	(123)	1,100

2021年6月30日現在、デリバティブに係る差入担保額は131億ユーロ（2020年度：212億ユーロ）であった。BNG銀行の信用格付が3ノッチ引き下げられても、2020年度同様、当該金額には影響しない。BNG銀行の流動性ポジションの強さは、担保債務を満たし、担保債務の変動を吸収するのに十分である。

	2021年6月30日現在	
	リバースレポ取引 (資産)	レポ取引 (負債)
強制力のあるマスター・ネットリング契約の対象となる リバースレポ契約およびレポ契約のネットリング 貸借対照表上のネットリング前の貸借対照表価額総額	998	(998)
リバースレポ契約およびレポ契約の貸借対照表上の ネットリング	(998)	998
金融資産および負債の貸借対照表価額純額	0	0

	2020年12月31日現在	
	リバースレポ取引 (資産)	レポ取引 (負債)
強制力のあるマスター・ネットリング契約の対象となる リバースレポ契約およびレポ契約のネットリング 貸借対照表上のネットリング前の貸借対照表価額総額	370	(370)
リバースレポ契約およびレポ契約の貸借対照表上の ネットリング	(370)	370
金融資産および負債の貸借対照表価額純額	0	0

利付有価証券（IBS）投資

BNG銀行のIBSポートフォリオは、主に流動性管理目的で保有されている。ポートフォリオは、質の高い債券で構成され、その大部分は中央銀行が担保として受け入れる。BNG銀行のIBSポートフォリオ全体は流動性ポートフォリオとALM（資産および負債管理）ポートフォリオに分けられる。流動性ポートフォリオは、譲渡性の高い有価証券のみで構成され、以下の表に示される様々なLCRレベルに従って細分化されている。ALMポートフォリオは、有価証券の種類によって細分化されている。ポートフォリオの動向は毎月報告される。外部格付および内部格付等の要因を用いて、BNG銀行はその動向を個別に監視している。これらのポートフォリオ内の資産は、年2回減損分析を受ける。

各格付カテゴリーについて以下に表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。貸借対照表価額合計（減損控除前）も最右列に示されている。価額合計179億9,700万ユーロは、貸借対照表項目「その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産」（94億7,400万ユーロ）、「償却原価で測定される利付有価証券」（77億400万ユーロ）および「純損益を通じて公正価値で測定される金融資産」（8億1,800万ユーロ）で認識される。

2021年6月30日現在

	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
	流動性ポートフォリオ						
レベル - 政府 / 国際機関	5,073	1,746	-	-	46	6,865	7,399
レベル B - カバード・ボンド	938	-	-	-	-	938	967
レベル A - 政府 / 国際機関	-	58	-	-	-	58	102
レベル A - カバード・ボンド	330	-	-	-	-	330	340
レベル B - 法人	-	-	25	-	-	25	26
レベル B - RMBS	805	-	-	-	-	805	815
	7,146	1,804	25	-	46	9,021	9,649
ALMポートフォリオ							
当初証拠金	389	1,228	220	-	-	1,837	2,099
RMBS	152	244	60	4	19	479	478
ABS	-	50	74	22	51	197	194
RMBS-NHG	3,436	68	129	-	-	3,633	3,642
その他	99	393	136	432	133	1,193	1,935
	4,076	1,983	619	458	203	7,339	8,348
合計	11,222	3,787	644	458	249	16,360	17,997

2020年12月31日現在

	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
	流動性ポートフォリオ						
レベル - 政府 / 国際機関	5,784	1,223	170	-	46	7,223	8,057
レベル B - カバード・ボンド	1,305	-	-	-	-	1,305	1,360
レベル A - 政府 / 国際機関	-	56	-	-	-	56	108
レベル B - 法人	-	-	25	-	-	25	25
レベル B - RMBS	642	-	-	-	-	642	647
	7,731	1,279	195	-	46	9,251	10,197
ALMポートフォリオ							
当初証拠金	405	1,008	50	-	-	1,463	1,650
RMBS	213	253	92	4	20	582	582
ABS	-	53	87	25	52	217	213
RMBS-NHG	3,297	77	139	-	-	3,513	3,516
その他	272	365	513	253	72	1,475	2,285
	4,187	1,756	881	282	144	7,250	8,246
合計	11,918	3,035	1,076	282	190	16,501	18,443

長期外国エクスポージャー

以下の表は、長期外国エクスポージャーの概要を示している。デリバティブ取引および短期取引（銀行との特定の現金担保を含む。）は含まれていない。表示された金額は、残存元本額で、百万ユーロ単位である。

2021年6月30日現在							
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
国際機関	1,420	149	-	-	-	1,569	1,572
国際開発金融機関	174	-	-	-	-	174	170
オーストリア	-	649	-	-	-	649	673
ベルギー	-	354	70	128	-	552	710
デンマーク	82	-	-	-	-	82	82
フィンランド	-	260	-	-	-	260	262
フランス	77	1,565	92	19	-	1,753	2,020
ドイツ	1,229	55	17	-	-	1,301	1,517
イタリア	-	10	17	-	51	78	75
ルクセンブルク	387	-	-	-	-	387	389
ポルトガル	-	14	31	50	100	195	197
スペイン	15	221	289	4	65	594	686
英国	330	393	60	428	115	1,326	2,053
米国	21	-	-	-	-	21	22
合計	3,735	3,670	576	629	331	8,941	10,428

2020年12月31日現在							
	AAA	AA	A	BBB	投資不適格	額面価額 合計	貸借対照表 価額合計
国際機関	1,240	149	-	-	-	1,389	1,417
国際開発金融機関	125	-	-	-	-	125	144
オーストリア	-	501	-	-	-	501	539
ベルギー	-	273	78	131	-	482	663
デンマーク	40	-	-	-	-	40	40
フィンランド	-	548	-	-	-	548	567
フランス	605	801	92	5	-	1,503	1,811
ドイツ	1,668	30	17	-	-	1,715	1,978
イタリア	0	13	17	-	54	84	81
ポルトガル	215	-	-	-	-	215	218
スペイン	-	-	48	50	100	198	199
スイス	61	240	272	4	66	643	745
英国	409	364	283	249	50	1,355	2,154
米国	20	-	-	-	-	20	22
合計	4,383	2,919	807	439	270	8,818	10,578

イタリアおよびスペインの投資不適格項目（すなわち、BBB-以下の格付の項目）は、住宅ローン担保証券（RMBS）取引を含む利付有価証券に関する。ポルトガルおよび英国の投資不適格のエクスポージャーは、インフラ、教育、エネルギーおよびヘルスケアの分野での少数の民間プロジェクト・ファイナンスのスキームに関する。投資不適格の外国エクスポージャーの公正価値合計は、3億6,800万ユーロ（2020年度末：2億8,700万ユーロ）であった。

オフバランスシート契約

偶発債務

これは、BNG銀行が第三者のために保証を発行した取引から生じる一切の契約債務を含む。これらのいわゆる信用状は、預金または公的機関の副保証によりカバーされる。BNG銀行は、借主が債務不履行の場合に支払う必要がある原貸付元本額で偶発債務を計上している。

	2021年6月30日現在	2020年12月31日現在
偶発債務	1,561	1,517

取消可能信用供与契約

これは、取消可能な当座勘定信用供与契約に帰属する一切の契約債務を含む。

	2021年6月30日現在	2020年12月31日現在
取消可能信用供与契約	6,621	3,676

取消不能信用供与契約

これは、貸付金および前渡金を供与することになりうる一切の取消不能な契約債務を含む。以下の表で、これらの契約は、与信枠ならびに契約済み貸付金および前渡金の将来の実行に区分される。

	2021年6月30日現在	2020年12月31日現在
与信枠の未使用部分に関する基本契約	926	3,405
将来実行予定の契約済み貸付金および前渡金	3,034	2,289
合計	3,960	5,694

貸借対照表日以降の事象

貸借対照表日以降、中間報告書の数値または開示に調整が必要な報告すべき事象はない。

ハーグ、2021年9月3日

執行委員会

Gita Salden (CEO)、法定取締役

Olivier Labe (CFO)、法定取締役

Cindy van Attevelde-Machielsen (CRO)、法定取締役

Jaco van Goudswaard (COO)

Thomas Eterman (CCO)

監督取締役会

Huib Arendse、会長

Jan van Rutte、副会長

Karin Bergstein

Kees Beuving

Johan Conijn

Marlies van Elst

Leonard Geluk

Femke de Vries

第3 【外国為替相場の推移】

(1) 【当該半期中における月別為替相場の推移】

該当事項なし

(2) 【最近日の為替相場】

該当事項なし